

奨励賞



設計者

高木研作

大阪府建築士会、(株)旧建設計 設計部門 設計部

児童・教育施設

熊本県熊本市西区

熊本県立熊本かがやきの森支援学校

構造・階数

木造、鉄筋コンクリート造、鉄骨造
地上1階

敷地面積

14,207.35㎡

建築面積

6,821.42㎡

延床面積

6,184.74㎡

竣工

平成26年11月18日



A



B



C

選評

設計施工、設計専門を問わず、これからは組織による設計者がいかに社会の風に吹きさらされるかの時代である。今年には日本の犯罪史上でも稀有な重度障害者の大量殺人があった。あの障害者の皆さんが住み暮らしていた建築は典型的な収容所型合理主義、すなわち近代主義の日本的表れの産物であった。

その点、この肢体不自由、知的障害等の重度障害の子供たちの施設は、その合目的な機能主義とは異なる一見の多様性、つまりは脱目的な、それでも機能主義に属する産物である。

組織事務所の設計者は、その組織自体が内在させる設計作

業の高効率化によってシニリズムに陥りやすい。繰り返しの連続が持たざるを得ぬ宿命の特性である。その点でこの建築は大枠に於いて、そんな組織が持たざるを得ぬニヒリズムの世界からは脱げている。敷地の形状が非整形であることと、設計者たちのプリミティブな障害児たちへのヒューマニズムが、花びら型平面のクラスター集合の如くが繰り返しの効かぬ非効率的空間主義へと向かわせたのである。

単純な線型モダニズムと非線型有機性との表裏性を内在させた建築である。
(石山修武)



D



E



F

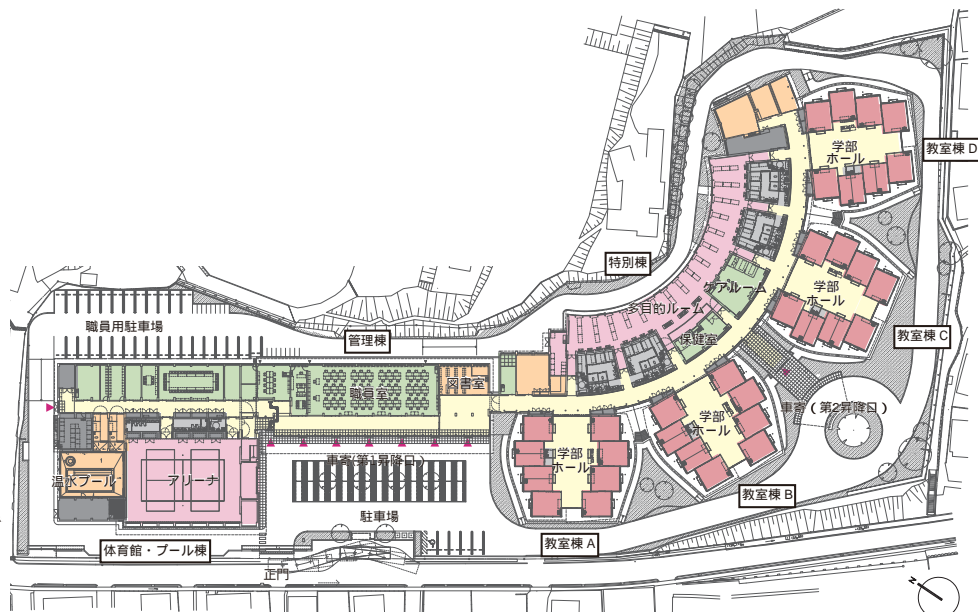


G

- A 柔らかなフォルムの屋根を持つ教室棟と中庭
- B 送迎空間としての管理棟の大庇(左)と教室棟(右)
- C 山並みと呼応する3次曲面の教室棟屋根
- D 木漏れ日が入りそそぎ大人数の集会を受けとめる無柱の学部ホール
- E 移動の意欲を促す緩いカーブの廊下
- F 小上がりスペースや教室間の引き戸によってさまざまな使われ方を誘発する教室
- G 各教室棟からアプローチしやすい細長い形状の多目的ルーム

写真撮影...浅川 敏

- 普通教室
- 特別教室
- 管理諸室
- アリーナ・多目的ルーム
- 廊下
- WC
- 倉庫等
- ▶ 主たる建物出入口



配置図兼平面図